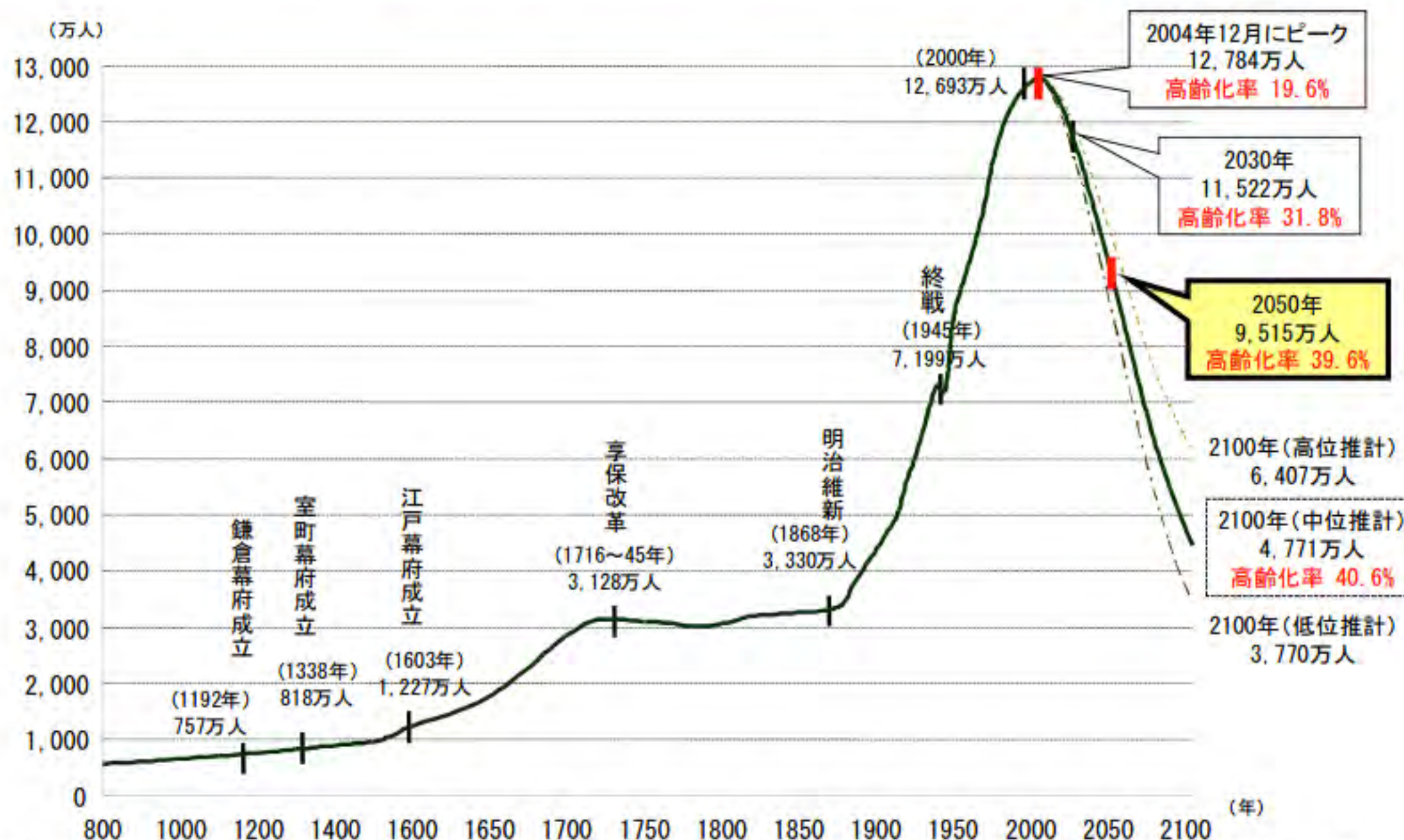


○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前（明治時代後半）の水準に戻っていく可能性。
この変化は千年単位でみても類を見ない、極めて急激な減少。



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析」(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

平安時代から最近まで増えてた

人口が増え続ける
経済は発展し続ける

こういうのを「右肩上がりモデル」

というんでしたよね。

大人たちの中には
まだ「右肩上がりモデル」を
信じている人が多い

人口は減ります

人口増を根拠とした経済発展
もありえません

そのことを
想像すらできない
人があまりにも多い

減るって言われてもピンとこない

いや、いずれ増えるでしょ？
増えたら元気出ますよ…

と言っている

もう、いいかげんに
そういう考え方を捨てた方がいい

「右肩上がりモデル」では
今後到来する社会の問題を
全く解決できない

残念だけど明らかなのよ...

まあ、でも

経験したこと
考えたこともないことを
新しく考えるのは難しい

(私を含めて)
オトナには無理!

でも、この発想の転換を
乗り越えないと

地方に未来はないと思うのです